

指定廃棄物処分場対策班だより

表面

第17号
平成28年7月26日発行

前号でお知らせしましたとおり、一時保管されている指定廃棄物の放射能濃度の再測定が町の立ち会いのもと、平成28年7月12日（火）に実施されました。

再測定は、現在、栃木県内161カ所に保管されている指定廃棄物のうち約40カ所を対象において再測定が実施されることになっており、放射能濃度の減衰傾向を正確に把握し、今後の処理方策を検討することを目的に行われています。

本号においては、再測定の作業の様子を写真と共にご紹介します。

①作業前の様子



③サンプル採取地点に目印をつけます



②防水シートを剥がします



④土を掘り（約50cm）、コンパネに穴を開けます



⑤ブルーシートとロールラップに穴を開けます



《裏面へ続く》

指定廃棄物処分場対策班だより

裏面

第17号

平成28年7月26日発行

⑥ サンプル（乾燥稲わら）を採取します



⑦ 同様の作業により10カ所からサンプルを採取しました



⑨ コンパネで穴をふさぎます



⑧ ロールラップとブルーシートを補修します



⑩ 土を埋め戻し、平らに整えます



⑪ 防水シートをかぶせ、熱で溶接して完了です



今回、採取したサンプルは専門機関で分析され、9月中に結果が公表される予定となっております。公表され次第、「対策班だより」でもお知らせいたします。